



小国町立小国中学校

令和 4.12.23 (金) No28

文責 狭間卓史



「持久走大会」

16日(金)、校内持久走大会を実施しました。これまででは駅伝大会として、学級対抗形式で開催していましたが、コロナ禍での実施ということで、たすき受け渡し時の密を避けたかったことや、チーム編成を考えたときに、生徒の急な欠席や体調不良時の対応が難しいこと等を理由に変更した次第です。

学年別、男女別にスタートし、少しでも過密になることを避ける工夫はしましたが、それでも状況によっては大勢で走る場所も出てくることから、コース自体も町内の商店街コースから帯田地区コースに変更させていただきました。帯田地区の皆様方にはご協力をお願いするお手紙を事前に配らせてはいただきましたが、お車での通行等でご迷惑をおかけした場面もあったのではないかと考えています。申し訳ありませんでした。

生徒の感想として、従来の駅伝大会形式の方が良かったという声もあれば、今回の持久走大会形式が良かったという声もあります。次年度以降のことについては今後あらためて検証し、どういう形で実施すべきか考えていきます。まずはコロナ禍が収束していることを願うばかりです。

ご家族の皆様方には寒い中、子どもたちに熱い声援を送っていただけましたことに心から感謝申し上げます。



【 位置について 】



【 この後、校外へ 】

「げんきのかけ橋」

本校舎から体育館やランチルームにつながる連絡橋名は「げんきのかけ橋」といいます。この橋は平成27年11月に給食センターと武道場が建設されたタイミングに合わせて作られました。それまでの本校生徒は体育館移動の際は靴に履き替え、グラウンド端を通り、野球グラウンド横の出入り口から町道を渡って行っていました。ですから雨の日は大変でした。この橋と体育館への通路は生徒の念願であり、完成の際は皆喜びました。そういう経緯があったからこそ、小学校校舎との連絡橋(「えがおのかけ橋」)同様に、大切に使おうとの思いから、当時の生徒会が小中学生全員に名前を募集し、決まったのが「げんきのかけ橋」という橋名です。

この橋名は、これが給食センターと体育館につながる橋であり、それぞれの場所が食事(栄養)と体力作りにつながることから、「私たちの元気につながるかけ橋」ということで命名されました。落成式には、当時の生徒会長が生徒代表で出席し、この橋名とその理由を発表してくれた様子を覚えています。今回、写真のように橋名を掲げることが出来て嬉しく思っています。教育委員会をはじめ制作に関わってくださった皆様方にあらためて感謝申し上げます。



【 名前通りのかけ橋です 】

「だれかの明日のために」

この校長室通信の第22号で「世界の子どもたちの命を救うワクチン代」に充てるためのエコキャップ(ペットボトルキャップ)集めの活動についてお知らせしたことがありますが、今回、その取り組みの延長として、「書き損じはがき」を集める取り組みが企画されています。この取り組みは、8年生の「総合的な学習の時間」での活動となります。

この「書き損じはがき」を集める取組自体は、例年、本校も実施しており、視覚障害者の方々への福祉事業の支援団体に寄贈していました。しかしながら、今年限定で預け先を変更させていただきますことご理解願います。

なお、回収期間は1月10日(火)から1月27日(金)で設定しているとのことです。

※この通信のカラー版は、「小国中学校ホームページ」でご覧いただけます。